

さくら市 議会だより

令和2年11月1日

No. **63**
2020年

ちよ
うど
いい!
さくら市



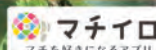
《市民すべてが、暮らしやすいと実感できる魅力あふれる「さくら市」を目指して》



目次



- ◆ 令和2年第3回定例会のあらまし…2～3
- ◆ 決算審査特別委員会 ……4～5
- ◆ 各常任委員会（総務・文教厚生・建設経済）6～8
- ◆ 一般質問ここが聞きたい ……9～15
- ◆ 議会レポート・議会の動き ……16
- ◆ 議会報告会2020（YouTube配信）…17
- ◆ 新型コロナウイルス感染症に対する議会の取り組み…18
- ◆ どうなったんべ あの質問は ……19
- ◆ 市民の声・次回の定例会の予定…20



コロナ対策をさらに強化

第3回定例会のあらまし

令和2年第3回定例会が9月1日から9月18日まで開催され、令和2年度一般会計補正予算等の議案14件、報告4件、追加議員案5件を、原案通り可決、認定しました。一般質問では7名が市政について問いました。

令和2年度一般会計補正予算(第7号)

○任意予防接種事業

(インフルエンザ予防接種により、インフルエンザの発生を抑え、医療現場への負担を軽減させるため)



3,840万7千円

○学校ICT管理事業

(国のGIGAスクール構想により、児童生徒1人1台の情報端末を整備するもの)



1億2,730万円

○小学校施設長寿命化改良事業 (熟田小学校の空調設備を整備)



2,100万円

○減額補正

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止等で執行しないものの予算見直し)

- ・ さくら市マラソン大会開催事業
- ・ 総合公園プール開設事業
- ・ 職員の県外出張旅費 等

△5,707万1千円

令和2年度 補正予算の概要

会計区分	補正額	予算総額
一般会計(第7号)	3億2,925万8千円	238億2,572万5千円
国民健康保険特別会計(第2号)	299万8千円	41億2,128万7千円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	93万3千円	4億6,030万円
介護保険特別会計(第1号)	1,946万4千円	32億8,756万8千円

追加議員案第1号・2号

- さくら市議会基本条例の一部改正について
- さくら市議会委員会条例の一部改正について

追加議員案第3号

- さくら市議会会議規則の一部改正について
- (追加議員案第1号・2号・3号においては災害・感染症のまん延等により会議への参集が困難な場合に、情報通信技術を活用し、議会活動の継続を図るもの)

追加議員案第4・5号

追加議員案第4号はさくら市長・教育長へ第5号は国へ提出しました。



追加議員案第4号提出時の様子

さくら市いじめ防止対策に関する意見書について

上記の議案を、別紙のとおり地方自治法第112条及びさくら市議会会議規則第13条の規定により提出します。 令和2年9月18日提出

- 提出者 さくら市議会文教厚生常任委員会 委員長 福田 克之
 賛成者 さくら市議会文教厚生常任委員会 副委員長 高瀬 一徳
 賛成者 さくら市議会文教厚生常任委員会 委員 石原 孝明
 賛成者 さくら市議会文教厚生常任委員会 委員 角田 憲治
 賛成者 さくら市議会文教厚生常任委員会 委員 小堀 勇人

さくら市いじめ防止対策に関する意見書

さくら市においては、いじめ防止対策に取り組んでいると認識しているところではありますが、現在、いじめに関することが、クローズアップされています。新型コロナウイルス感染症が拡がり、感染した場合、本人だけでなく、家族、医療従事者等にも感染中絶的となっているとともに、6月にはパワーハラスメント防止法の施行、最近ではSNSの書き込みにより死に追い込まれる案件など、問題は深刻化、重大化しております。加えて、弱い人から強い人へ、人から動物へ、虐待が広がっているのも事実です。いじめのない社会は全ての人の願いであり、一人ひとりの心と体を大切にしなければなりません。しかし、いじめは、家庭、学校、職場、さらにはSNSなど、あらゆる場面で起こっています。

いじめは、いじめを受けた人の尊厳及び人権を著しく侵害し、大人だけでなく子どもにおいては心身の成長と人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命または身体に重大な危険を生じさせる恐れがあるもので、決して許されるものではありません。いじめは、絶対悪であり、いじめている側がすべて悪い。

二度といじめが起きないために、何ができるかを考え、文教厚生常任委員会では先進事例を調査研究してきました。

その中で、本市としてもいじめ防止対策の施策として、条例はじめ規則、要綱、指針等に取り入れ、いじめや虐待のない社会を目指すため、下記事項を提言いたします。

1. いじめ(SNSを含む)の早期発見・即時対応。家庭、学校、地域、警察などの連携を充実させること。
2. いじめ防止対策に関するスローガンなどをつくり、広く周知・啓発を行うこと。
3. 家庭、学校、職場など社会全体の共通理解を深め、スピード感をもっていじめ防止に対応していくこと。
4. 問題解決のための対話ができる環境を整備すること。
5. 教育現場での道徳教育の充実を図ること。
6. 学校教育、社会教育の場で、子どもたちのカウンセリングの場をつくること。
7. いじめ防止対策に有効な方法について、調査研究をすること。
8. 動物虐待防止対策に有効な方法について、調査研究をすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。 令和2年9月18日

さくら市長 花塚 隆志 様
さくら市教育長 橋本 啓二 様
さくら市議会議長 石岡 祐二

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたく、地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能に発揮できるように総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特別措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本業国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。 令和2年9月18日

栃木県さくら市議会議長 石岡 祐二

衆参内閣総務大臣 菅 義偉
 内閣府副大臣 萩生 大光
 経済産業大臣 西村 康敏
 国土交通大臣 川口 順平
 厚生労働大臣 野村 哲也
 環境大臣 西村 康敏
 農林大臣 梶山 弘樹
 文部科学大臣 萩生 大光
 法務大臣 小国 進次郎
 防衛大臣 河野 克敏
 外務大臣 河野 太郎
 大蔵大臣 野村 哲也
 総務大臣 萩生 大光
 国土交通大臣 川口 順平
 厚生労働大臣 野村 哲也
 環境大臣 西村 康敏
 農林大臣 梶山 弘樹
 文部科学大臣 萩生 大光
 法務大臣 小国 進次郎
 防衛大臣 河野 克敏
 外務大臣 河野 太郎
 大蔵大臣 野村 哲也

議案第14号 市有財産の減額貸付けについて

(旧金鹿小学校跡地を適正価格より低い対価で貸付けるもの)



● 決算審査特別委員会

開催期間：9月7日・8日・9日
 ◎洪井 康男 ○若見 孝信 他委員15名
 (※小堀勇人議会選出監査委員を除く)

決算審査特別委員会で示された主な意見

1. 税金の徴収

口座振替におけるWEB申請について研究を。

主な質疑

Q 口座振り込み件数の伸び率は。またWEB口座の口座振替促進はどのように行っているのか。

A 前年度比較0.7%増である。周知については、市の広報紙、HP、ポスターの掲示、ツイッター、フェイスブック、防災行政メール等で周知を行った。また、足利銀行のHPにも掲載している。



口座振替キャンペーン粗品

2. 公用車管理業務

古い公用車の修繕費と更新のタイミング、物損事故費用と保険料のバランスで市として有益となるよう有効な対策を。

Q 中型バスの稼働率が37%である。すでに購入から25年経つので買い替え等は考えているのか。

A できるだけ手を加えながら今後も利用を図っていく。



中型バス

3. 個人番号カード交付事務費

交付数が増加するよう事務手続き上の配慮と工夫を。交付までの期間が短縮できるよう関係機関に対し働きかけを。

Q マイナンバーカード保有率は。また特別定額給付金事業におけるマイナンバーカードでの申請件数は。

A 7月31日現在の保有率は15.6%である。特別定額給付金の申請数は525件で3%である。



【おもて面】

【うら面】

4. 高齢者事業

今後の事業展開について、市が敬老会事業のモデルを提案するなど配慮と工夫を。

Q 今後の事業展開について。

A 極力可能な範囲において、記念品やお弁当等を奨励金の対象に加える制度を実施していきたい。



5. 給付型奨学金事業

貸与型の斎藤奨学金も含めて、本市の奨学金制度の活用が効果実績が十分に上がるよう配慮を。

Q 執行率が低い理由について。

A 収入基準等の条件が合わない場合がある。また学校に不合格となる事由もある。



6. 博物館作品購入等事業

保存する資料を有効に活用するため、収蔵作品の一覧を作成するなど市民へのPRを。

Q ミュージアムのデータベースを整備する考えは。

A 今後研究を進めて、できるものから取り組んでいきたい。



ミュージアム収蔵庫

7. 氏家地区農産物直売所運営事業

本市の農産物や加工品を市内外の消費者に広められるよう、また、財政負担に見合うよう取り組みを。

Q 菜っ葉館の今後について。

A 運営の主な部分に地域おこし協力隊が参画しているが、任期が今年含めて2年である。その間には次の方向性を考えていきたい。



8. 商店街の景観・ホスピタリティ向上事業

商工会などとも連携し、店主の研修などにも取り組み、効果実績が十分に上げられるよう取り組みを。

Q ハード面の整備よりもスタッフの研修等を充実させるべきでは。

A 商店街や商工会と協議し検討する。



神戸市の事例

9. 公営住宅維持管理事業

入居率の低い住宅を社宅や高齢者住宅として活用することで入居率の向上を。

Q それぞれの住宅の年度末の入居率は。

A 市営住宅の内、募集を停止し※政策空き家としている市営住宅を除いた年度末の入居率は草川A住宅85.7%、草川B住宅88.9%、草川C住宅97.6%、草川E住宅88.9%、上阿久津住宅100%、豊原住宅53.7%、ひばりが丘住宅100%、新町住宅77.8%、大沼台住宅77.3%である。



豊原住宅

※政策空き家

すでに耐用年限を迎えた住宅または耐用年限を迎える市営住宅について建替え、用途廃止までの間空室となっても入居者募集を行わないこと。

総務常任委員会

◎鈴木 恒充 ○若見 孝信
大河原 千晶・岡村 浩雅・永井 孝叔・渋井 康男

議案第3号 令和2年度さくら市一般会計補正予算（第7号）所管分

- Q 今回の補正は新型コロナウイルスによる事業の中止や延期による減額補正が多いが、新型コロナウイルス対応事業は考えられないか。
- A GIGAスクールについては本来3年かけて行う事業を1年で行うなどの取り組みを行っている。
- Q マイナンバー制度導入事業の業務委託料は、毎年計上しているものなのか。
- A 今回の補正は、デジタル手法と戸籍法が改正になったことによるシステムの改修に係る業務委託料である。

議案第14号 市有財産の減額貸付けについて

- Q 借地料については、契約から5年で見直すことになっているとのことであるが、見直しの際の賃借料は契約書にうたわれているのか。
- A 5年が経過した時点で経営状況等も確認しながら協議のうえ決定していく。
- Q 貸し付け面積拡大によって生まれる雇用については。
- A 地域雇用が14名ほど増える予定である。

陳情第3号 日本政府及び国会に対し、「日米地位協定の抜本の見直しを求める」よう意見書提出を要請する陳情について

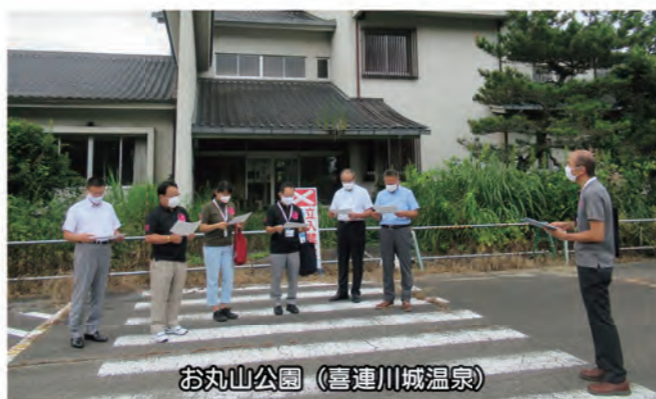
不採択
理由：外交問題は国レベルで話し合う問題であり、地方議会がこのような内容を審議することはふさわしくないのではないのか。

《現地調査》

- お丸山公園 ●和みの杜（旧金鹿小学校）



お丸山公園（喜連川城温泉）



お丸山公園（喜連川城温泉）



和みの杜（旧金鹿小学校）



和みの杜（旧金鹿小学校）

文教厚生常任委員会

◎福田 克之 ○高瀬 一徳
石原 孝明・石岡 祐二・角田 憲治・小堀 勇人

議案第3号 令和2年度さくら市一般会計補正予算（第7号）所管分

- Q 市立中学校国際交流事業について、延期になったが来年度はどのように実施するのか。
- A 来年度は変則的に中学2年生と3年生2回実施し、空白の学年を生じなくする。
- Q 学校ICT管理事業の導入予定のメーカーは。
- A 全国多くの市で導入している、*クロームブックを予定している。
- Q 学校施設長寿命化事業について、押上小学校の今後のスケジュールは。
- A 押上小学校の設計はすでに終了しているので、なるべく早く実行したい。
- Q 押上小、熟田小が小規模校だが、定員の適正化への対応は。
- A ともに学校の特色化を図り、今後とも魅力ある学校づくりを進め、小規模特認校や学区の柔軟な対応等も検討したい。
- Q 社会教育、社会体育に関する事業が中止となっているが、来年度に向けた方向性は。
- A 実施に向け予算は要求し、状況を判断してやれる方法を模索していきたい。
- Q 新型コロナウイルス感染症対策の備蓄品の状況は。
- A 現在マスクは12万6千枚の備蓄がある。防護服は590着程度、消毒剤は83ℓ備蓄している。

*クロームブック
Google（グーグル）のChrome OS というコンピュータの操作・運用・運転を司るシステムを搭載したコンピュータのこと。

議案第4号 令和2年度さくら市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

可決

議案第5号 令和2年度さくら市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

可決

議案第6号 令和2年度さくら市介護保険特別会計補正予算（第1号）

上位法の改正によるため原案通り可決。

陳情第2号 介護サービス費用負担軽減に関する陳情について

継続審査
理由：引き続き調査が必要なため

《現地調査》

- 榊白興栃木工場 ●福祉避難所設営（喜連川保健センター）
- 大中サギ群生地 ●スクールバス運行状況



スクールバス



榊白興栃木工場



福祉避難所設営

議案第3号 令和2年度さくら市一般会計補正予算（第7号）所管分

- Q** コロナによる影響で、(株)道の駅きつれがわに対して指定管理料の増額をするが、休んでいた時の経費の減少分や人件費などは計算に入っているのか。
- A** 消耗品、燃料費、電気料、上下水道料等については差し引いているが、人件費については差し引いていない。
- Q** 菜っ葉館で働いている、地域おこし協力隊の方の就業時間は。
- A** 平日8時30分～16時30分の週5日勤務条件である。
- Q** 菜っ葉館は現在は直営方式だが、経営状況は。
- A** 1月～3月は前年並み、4月～6月は1～3%増、7月～8月は約15%増の売上となっている。
- Q** 4号源泉ポンプは源泉が高温のため故障が多い。対策としてポンプを休ませるとのことだが、冷却させる方法は。
- A** インバータ制御の機器を設置した上でポンプを休ませ、効率的に冷却させる。
- Q** 4号源泉ポンプインバータ機器の耐用年数は。
- A** 国の補助金上の耐用年数は15年である。

《現地調査》

- 想定浸水深表示板設置箇所
- 道の駅きつれがわ
- 荒川水辺公園の復旧工事箇所
- 太陽光発電計画箇所



想定浸水深表示板設置箇所



道の駅きつれがわ



荒川水辺公園の工事復旧工事箇所

■一般質問ここが聞きたい



福田 克之 議員



Katsuyuki Fukuda

システムづくり、地域づくりに中断なく取り組みたい。



地域づくり勉強会

首都機能移転を含めた地方分権について

▶市が持つ良好な環境を、国全体の発展のために活かしていく

Q 地方分権の考えにおけるリモートワーク企業の誘致ワーケーション(仕事とバカンス)の誘致等について問う。

A 市として、お試しリモートワークやワーケーションの受け皿になるよう、魅力ある未来予想図の舞台となることを目指す。



さくら市の行政システム一元化について

Q 5年間かけ、全自治体で共通のサービスを提供できる仕組みを構築するようだが、さくら市における考え方について問う。

A 行政システムの統一化を通じた住民サービスの向上は、時代の要請であると認識しており、積極的に取り組んでいく。今後国から示される具体的な手法、実施時期、財源など情報収集を積極的に進めたい。

高齢者支援の充実について

Q 新型コロナウイルスにより、認知症の人が外出自粛や行動制限による、認知症の悪化がクローズアップされている観点から問う。

A 10月に社会福祉協議会と共同サロン会議を実施し、情報交換を行う。コロナ禍をこえる、市独自の地域包括ケア

新型コロナウイルス感染症対策について

Q 本人や職場や学校の差別や人権配慮の対策について問う。

A コロナ禍における人権侵害を防止し、市民を守る啓発等の施策について、関係機関と連携して継続的に注力する。また、教育委員会と学校が一体となり、差別、中傷を許さない姿勢、意識の醸成に取り組む。

みんなで広げよう
シトラスリボンプロジェクト
INとちぎ



※シトラスリボンプロジェクト
コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志が作ったプロジェクト。愛媛特産の柑橘(かんきつ)が作ったプロジェクト。愛媛特産の柑橘(かんきつ)にちなみ、シトラス色のリボンを身に付けて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めている。3つの輪は「地域」「家庭」「職場(学校)」を意味している。



若見 孝信 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Takanobu Wakami

令和2年度成人式の式典について

▶分散開催を検討

Q 成人式開催の対策は。

A 氏家公民館で2回に分けての開催を検討している。入場者も最小限にするため、家族の入場は控えてもらう。式典当日は、入り口でのサーマルカメラで検温を行いマスク着用、手指の消毒をする。会場内は、椅子の間隔を前後左右に空けて配置し、常時換気を行う。

Q 式典の中止もあるのか。

A 新型コロナウイルス感染者が増加し、国・県の緊急事態宣言が発令された場合やガイドラインの基準に沿って実施が困難になった場合、また本市の感染状況を基に可否の判断をする。中止の周知方法は、市のホームページ・ツイッター・LINE等のSNSを活用する。さらに、新成人者の案内通知にそれらのQRコードを掲載して情報を確認してもらう。



令和元年度 成人式

新型コロナウイルス感染症について

Q 学校や保育園での感染が確認された場合は。

A 県のガイドラインに従い、防除作業や濃厚接触者を特定する期間などを想定し、2日以上休校する。医師や県と協議し、休校期間を検討する。

GIGAスクールについて

Q タブレット端末の利用方法は。

A 現在、喜連川中学校で先行的実践使用を行っている。授業支援ソフト ※ロイロノートを全ての授業で活用する。ロイロノートにより課題プリントなどを児童・生徒へ一斉配信・回収することができ、教員の業務改善にもつながる有用なツールである。



※ロイロノート
1人1台のタブレット環境での学習に適した授業支援ソフトで、資料のやりとり、思考の可視化、意見の共有が簡単にできる。



加藤 朋子 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Tomoko Kato

コロナ禍における各種政策の方向性は

▶感染リスクは継続、慎重に判断していく

Q 対策と今後の展望を問う。

災害発生時の避難所設営における感染症対策は。

A 新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設運営方針を策定し、避難所内では3密を避ける※ゾーニング、パーティション等の活用、体調不良者を別室等へ区分するなどの対応を決めた。7、8月には、避難所・福祉避難所開設訓練等を4回実施し、感染症対策物資の整備も進めている。



避難所開設訓練の様子

Q ステイホーム下での高齢者の心身の※フレイル対策は。

A 自宅で手軽にできる体操などを載せたチラシを作成し、全戸に配布した。さらに屋外でのウォーキングやノルディックウォーキングなどを積極的に推進し、健康ポイントや健康アプリの活用検討、温泉施設等を活用した教室の充実、課を横断したイベントの実施なども取り組む。



Q 教育の継続をいかに担保していくのか。オンライン授業導入の可能性は。

A 学校通信網の整備と職員研修を進めている。授業支援ソフト、個別学習ドリルソフト、配信ツールなどを活用して、多様な学習活動を行う予定。家庭での活用マニュアルも作成し、通信環境を確保できない家庭支援として、パソコン等の貸与、整備費一部補助、公共施設の利用などを検討していく。



さくら未来塾 プログラミング教室

Q 各種イベント開催の方向性は。

A 県内の感染状況や国・県の動向を踏まえ、会場や活動内容など個別のリスクの様態を勘案し、引き続き慎重に判断をしていく。

※ゾーニング
スペースを目的をもって分けること。

※フレイル
健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下がみられる状態のこと。



永井 孝叔 議員



Takayoshi Nagai

本年度策定する国土強靱化地域計画について

▶現在鋭意策定作業を進めている

Q 国土強靱化地域計画の策定についての考えは。

A 「さくら市版国土強靱化地域計画」については、第2次総合計画後期計画、そして第2期、まち・ひと・しごと創生総合戦略とともに本年度策定し、現在鋭意策定作業を進めている。

Q 本市の防災重点のため池長寿命化計画の作成状況は。

A 7ヶ所のため池については、今年度から令和4年度にかけて、施設の長寿命化計画を立て、その後その評価結果に基づいて優先度を付して計画的に対策工事を実施していく。



向溜（令和元年台風19号による被災）

学び保障について

Q 学び保障の具体的な取り組みは。

A 4つの方策を基本とし1つ目は、授業時数の量的確保、2つ目は教育課程の見直し、3つ目はオンライン学習授業の環境整備、4つ目は学習の保障に対する人的支援策に取り組んでいく。



Q ICT教育について

A 本市は進化プランとして学力向上、ICT教育の推進を掲げ、各施策に取り組んできたが、このコロナ禍における難局をICT教育進化の契機と捉え、早期かつ有効な充実した情報教育環境の整備に邁進していく。



その他の質問

○新型コロナウイルス感染症について



鈴木 恒充 議員



Tsunemitsu Suzuki

企業誘致推進事業の概要について

▶工業団地内未開発土地…約104ヘクタール

Q 企業誘致をする場所はどの辺を想定しているか。

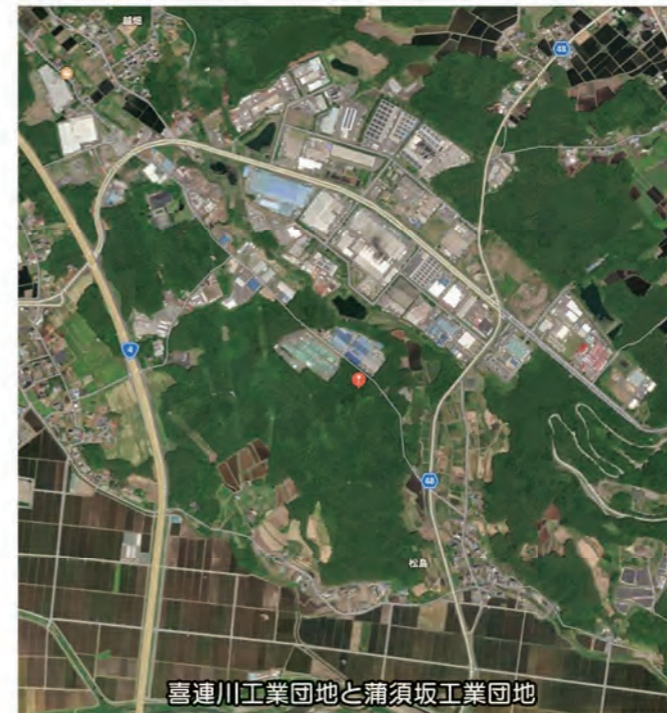
A 工業系の用途地域である喜連川工業団地と蒲須坂工業団地である。

Q 喜連川工業専用地域の用途地域の指定見直しについて。

A 用途地域の指定見直しが非常に困難である。当時の開発計画に基づいた調査も完了しており、地権者への意向調査を実施している。

Q 窓口への国土法、都市計画法、農振法、農地法の関係法令の専門技術者の配置について。

A 市の経験豊富な職員の再任用、また、県の技術職員OBの雇用の配置を必要に応じて考えていく。



喜連川工業団地と蒲須坂工業団地

商店街の景観ホスピタリティー向上事業の概要について

Q 商店街の改修事業エリアは。

A 氏家地区は琴平通り商店街を中心とした周辺エリア、喜連川地区は、喜連川公民館、体育館、図書館の入口周辺エリアを重点整備エリアと考えている。



現在の琴平通り入口（氏家駅東口）

その他の質問

○総合交流ターミナル施設維持事業の概要について

○シティプロモーション事業の概要について



櫻井 秀美 議員



Hidemi Sakurai

さくら市副市長と理事について

▶市長任期は残り7か月だが本市の力となる人材を副市長として検討

Q さくら市条例で副市長を置くとしているが、

A 本市の力となってもらえる人材を副市長として迎えるよう検討している。

Q 一般職理事の起用は妥当だったのか。

A 一般職である理事を起用したことは、十分効果があった。

Q 働き方改革に関連して市のストレス度チェックは13.6%、各市町村平均は5~10%で高い。また休職者が3名、昨年よりもっと多く数名辞職している。人の心のケアをどう考えているか。

A 数値が高いことも把握している。大切な課題なので、みんなでいい職場であるよう努力していきたい。

さくら市給食センター建設について

Q 事業スケジュールは。

A 入札等を含めて設計に1年半、建設工事に約1年半必要で本市最大規模の事業。

Q 4,500食+αで考えているようだが、学校給食以外の提供も含めるとメンテナンスの絡みは。また人口減少が進んでいく中4,500食が妥当か。

A 4,500食については、平成27年10月策定した人口ビジョンにて設定、今回※社人研のデータを改めて精査する。365日の稼働では調理器具の負担増の課題もあり、慎重に判断したい。

Q 最大規模の事業であれば、学校給食センター建設基金の設置をしては。

A 市全体の財政計画にどう影響を及ぼすか、財源確保も併せて判断したい。

さくら市の財務と市長公約の農産物1.2倍について

Q ※経常収支比率の状況は。

A 令和元年度経常収比率は91.4%、前年94.7%で3.3ポイント改善しているが依然として90%を超える厳しい状況である。

Q 建物の資産老朽化比率が55.7%と非常に高いが、今後の予算だと毎年十数億円足りない状態になりそうだが何か検討しているか。

A ※FM戦略会議、検討部会を組織しその管理計画の中で施設総量の10%削減をうたっている。

※社人研
国立社会保障・人口問題研究所。厚生労働省に設置された国立の研究機関。

※経常収支比率
人件費、扶助費、公債費などの経常的な経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税などの経常的な収入がどの程度充当されているかを表した比率。

※FM戦略会議
建物等の最適な状態での保有・維持を総合的、戦略的に推進する組織で、全庁的な合意形成を図るための中枢となる会議。



笹沼 昭司 議員



Shoji Sasanuma

地域外来・PCR検査センターについて

▶10月2日より運用を開始

Q 設置についての状況は。

A 塩谷及び南那須地区の広域行政組合と医師会を中心に10月2日より運用を開始する。

Q 現在、PCR検査を依頼できる医療機関等はどの程度あるか。また1日当たりの検査可能件数は何件程度か。

A 9月2日現在、栃木県内では160の医療機関に依頼可能。検査可能数については1日最大1,504件、これまでの1日最大検査数は400件である。



企業誘致について

Q 新たな工業団地の新設の考えは。

A 企業誘致推進本部を設置し、工業誘致ゾーンに指定している地域の鷺宿、百目貴地区、河戸小学校周辺や喜連川工業団地隣接地区の合計約227ヘクタール、164人の地権者に、郵送で調査を実施した。

小中学校における新型コロナウイルス対策の現状と課題について

Q 休校の措置が約2か月続いたが、中学3年生等の学習の遅れをどのように取り戻すのか。

A 長期休業日の短縮や教育課程の見直しにより、可能な限り学習の遅れを補う。さくら未来塾学習コースで受験生の支援策として、土曜日に入試対策講座を開講。また県においては、高等学校の入学試験の指導範囲を配慮するなどの対応がとられる。

Q 2015年の学習指導要領の一部改訂で、小中学校では道徳の教科化が図られたが、児童により変化の兆しはあるか。

A 議論する道徳への転換を図るとともに、自分を律する気持ちや他者を思いやる気持ちの育成に努めている。また、道徳の授業の参加について中学校では肯定的に回答している生徒の割合が約9割で、よい変化の兆しではないかと思っている。



その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症の影響による市政運営上の課題について
- 合併浄化槽について

議会レポート

県市議会議長会議

令和2年7月10日
県内全14市
・石岡 祐二 議長
・岡村 浩雅 副議長

県北五市議長会議

令和2年8月26日
・石岡 祐二 議長
・岡村 浩雅 副議長

塩谷市町村議会議長会

令和2年9月25日
・石岡 祐二 議長

監査

- 例月現金出納検査
8月25日
9月25日
・小堀 勇人 議員
- 決算審査
7月13日、14日、17日、
20日、22日、28日
・小堀 勇人 議員

表彰

全国市議会議長会表彰
・小堀 勇人 議員



国際友好都市調印式

令和2年8月5日
アメリカ合衆国のカリフォルニア州ランチョパロスベルデス市と国際友好都市を結びました。



-国際友好都市調印式

今年の「議会報告会2020」はYouTubeで配信！

さくら市議会 議会報告会 YouTube版



さくら市議会報告会



議会の動き

7月	9月
10日 栃木県市議会議長会議	1日 令和2年第3回定例会開会 議員全員協議会 議会広報委員会
11日 元栃木県知事故渡邊文雄氏お別れ会	2日 令和2年第3回定例会一般質問
13日 決算審査	3日 令和2年第3回定例会一般質問 議会報告会検討委員会
14日 決算審査	7日 令和2年第3回定例会決算審査特別委員会(総務常任委員会所管分) 議会報告会運営会議
17日 決算審査	8日 令和2年第3回定例会決算審査特別委員会(文教厚生常任委員会所管分)
20日 決算審査	9日 令和2年第3回定例会決算審査特別委員会(建設経済常任委員会所管分)
22日 決算審査	10日 令和2年第3回定例会文教厚生常任委員会
28日 決算審査	11日 令和2年第3回定例会建設経済常任委員会
30日 議会運営委員会 さくら市議会新型コロナウイルス感染症対策会議	14日 令和2年第3回定例会総務常任委員会
8月	16日 議会運営委員会 さくら市議会新型コロナウイルス感染症対策会議
4日 文教厚生常任委員会	18日 議員全員協議会 令和2年第3回定例会開会
5日 国際友好都市調印式 議会報告会検討委員会 議会活性化特別委員会 建設経済常任委員会	25日 塩谷市町村議会議長会 例月現金出納検査
19日 議員全員協議会(令和2年第3回定例会) 議会運営委員会(令和2年第3回定例会)	26日 議長杯ゲートボール大会
25日 例月現金出納検査	30日 議会広報委員会先進地視察研修(足利市)
26日 県北五市議長会議	

例年8月に開催している「議会報告会」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期としてまいりました。

今後も市民の皆様に参加いただいての開催が難しいことから、YouTubeにて配信します。

主な報告事項は「新型コロナウイルス感染症対策」であり、第1回臨時会(4月27日開催)、第2回臨時会(5月8日開催)、第2回定例会(5月29日~6月5日)の抜粋となっております。

YouTubeをご覧になった感想、意見、議会に対する要望等は、議会事務局までお願い致します。

TEL 028-681-1123
FAX 028-682-3921
Mail gikai@city.tochigi-sakura.lg.jp



議会からの要望も取り入れられた
『新型コロナウイルス感染症対策』が実施されています

- PCR地域外来検査センターについて（塩谷広域行政組合、南那須地区広域行政組合合同）
10月2日より運用開始（設置場所非公表）
- GIGAスクール構想 タブレット等整備状況
2020年度内に市内全児童生徒へ配布完了。4146台。
- サーマルカメラ（非接触型体温計）設置
庁舎等公共施設21台、学校25台、保育園11台、学童10台 計67台
- マスク、消毒液の確保について
10月1日現在備蓄数 マスク12万7160枚、手指消毒剤85ℓ、防護服624枚
- プレミアム付きクーポン券の発行（販売終了）
2万セット、使用期限令和3年1月31日まで
- 医療従事者等応援事業
医療従事者等さくらブランド品提供3000円分×1000人
医療機関等花PR事業（生産農家支援）生産農家7戸×10万円
- さくら市農産物PR事業
学校給食での鮎の甘露煮、鮎めしの提供 4100食分×2回
- 防災対策
避難所用間仕切り、段ボールベットの購入
- さくら市斎藤奨学金（緊急採用）の実施
家計急変における経済的理由による修学困難な方に対する緊急措置
令和2年8月3日から随時募集
- 新生児特別定額給付金事業
4月28日以降に生まれた新生児に対し1人10万円給付
- 保育園・小中学校・学童保育での手洗水栓を自動水栓、レバー式等へ改修 等

詳細については、さくら市広報・HPでご確認ください。

新しい生活様式で先進地視察を再開

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い自粛していた先進地視察を再開しました。先進地視察を行うに当たっては、マスクの着用、手指の消毒等感染防止対策を万全の上実施します。

各委員会等の報告書はHP、議会だより令和3年2月1日発行号をご覧ください。

どうなったんべ
あの
質問
は



議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

公共交通について

令和2年 第1回 定例会
令和元年 第1回 定例会
平成31年 第1回 定例会

今までは…

公共交通に関しては、定時定路線で運行される路線バス、氏家地区・喜連川地区それぞれで運行し、完全予約制であるデマンド交通他、氏家駅から市有温泉施設を巡る「温泉バス」や高齢者の足となっている「福祉バス」など、担当課がまたがるなど、わかりにくいとの指摘がありました。



観光温泉バス



つういんコンタ号

現在は…

平成31年4月から、喜連川地区全域と黒須病院を運行するつういんコンタ号の運行を開始し、喜連川地区の住民の通院の移動手段の充実を図りました。

また、令和2年4月からスクールバスの多目的利用事業を開始しました。

これまでは、喜連川小学校児童の登下校に用途が限定されていたスクールバスですが、児童が利用しない時間に限り、地域の団体等でも利用できるようになりました。

一方、令和2年9月いっぱい福祉バスを廃止しました。

このように、必要とされている路線をさらに充実させ、利用が少ない路線を統廃合するなど、市民が利用しやすい、わかりやすい公共交通網を目指していきます。



スクールバス



喜び連なる 出会いを



おなべ たかこ
小鍋 貴子 (喜連川中央)

出産を機に繋がったママ友で「Sakura mama's KIRE(キレ)」を結成したのが約2年前。仲間とフェルトのお弁当を作り、イベントに出店。子どもたちのキラキラした笑顔を見られた喜びに加え、手芸を通して活き活きする仲間の姿を見たときはかなり感動しました。「ママが輝く時間を持つことって大事なな〜」って。「ママのために出来ることないかな」…それが、KIREの子育て支援の始まりです。

ありがたいことに私には地域に頼れるママ友がいて、私を頼ってくれるママ友もいました。そんなふう地域全体で育児を支え合えば良いと思います。そのためにはママたちの繋がり、出会いの場が必要ですね。気軽にふらっと立ち寄れるママと子どもの居場所が…そんな想いで「KIREの家」を開設いたします。

「家」のスタッフは地域のママです。そのママたちが自分の趣味や得意事で学びの場を提供したり、のんびりお茶して語り合ったり…ママがほっこりできる空間を「家」に集うみんなで創っていきたいです。

さくら市議会にはそんなママや子どもたちへのさらなる支援策を望みます。



活動の様子

お知らせ

次回 12月定例会予定

12月1日(火)～
12月15日(火)

◎正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定いたします。

- 議員年金について
平成23年6月1日をもって廃止されました。
- 政務活動費について
さくら市議会は支給されておりません。

《表紙写真》

喜連川のりんご「陽光」

サイズは300～350gと大きめで、果皮はきれいな赤色。甘味が強くてほどよい酸味があり、果肉はかためで食味のよいりんごです。

議会広報委員会

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをおねがいします

自分をまもり、大切な人をまもり、地域と社会をまもるために、接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省
新型コロナウイルス接触確認アプリ
(略称：COCOA)
COVID-19 Contact Confirming Application

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです

- ◎本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。
- ◎利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性

・接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはできません
・どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにはわかりません
※端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
※記録は14日経過後に無効となります
※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
※ブルートゥースをオフにすると情報を記録しません

iPhoneの方はこちら
Androidの方はこちら
詳しくはこちら

App Store
Google Play
厚生労働省ウェブサイト



高瀬 一徳 石原 孝明 笹沼 昭司 吉田 雄次
鈴木 恒充 福田 克之 ◎岡村 浩雅 ◎大河原 千晶 櫻井 秀美